

1 日本のノリの和名と学名 (新種記載と新記録の報告に伴う修正版、2021年12月)

日本の沿岸に生育するノリ(紅藻植物門 紅藻綱 ウシケノリ目 ウシケノリ科)は31種あります。それらの和名(標準和名)と学名は次の通りです。(日本の沿岸に生育するノリが29種から31種になりました。)

アカネグモノリ属 (*Neomiuraea*)

アカネグモノリ *Neomiuraea migitae* (ネオミウラエア ミギタエ)

アマノリ属 (*Neopyropia*)

アサクサノリ *Neopyropia tenera* (ネオピロピア テネラ)

ウタスツノリ *Neopyropia kinositae* (ネオピロピア キノシタエ)

カイガラアマノリ *Neopyropia tenuipedalis* (ネオピロピア テヌイペダーリス)

カヤベノリ *Neopyropia moriensis* (ネオピロピア モリエンシス)

スサビノリ *Neopyropia yezoensis* (ネオピロピア イェゾエンシス)

ソメワケアマノリ *Neopyropia katadae* (ネオピロピア カタダエ)

ベンテンアマノリ *Neopyropia ishigecola* (ネオピロピア イシゲコーラ)

マルバアサクサノリ *Neopyropia kuniedae* (ネオピロピア クニエダエ)

ヤブレアマノリ *Neopyropia lacerata* (ネオピロピア ラセラータ)

ウップルイノリ属 (*Pyropia*)

アツバアマノリ *Pyropia crassa* (ピロピア クラッサ)

ウップルイノリ *Pyropia pseudolinearis* (ピロピア プセウドリネアーリス)

チシマクロノリ *Pyropia kurogii* (ピロピア クロギイ)

オオノノリ属 (*Uedaea*)

オオノノリ *Uedaea onoi* (ウエダエア オーノイ)

オニアマノリ属 (*Neoporphyra*)

イチマツノリ *Neoporphyra seriata* (ネオポルフィラ セリアータ)

オニアマノリ *Neoporphyra dentata* (ネオポルフィラ デンタータ)

センジュアマノリ *Neoporphyra kitoi* (ネオポルフィラ キトーイ)

ハイタンアマノリ *Neoporphyra haitanensis* (ネオポルフィラ ハイタネンシス)

ベニタサ属 (*Wildemanina*)

キイロタサ *Wildemanina occidentalis* (ウィルデマニア オシデンターリス)

フイリタサ *Wildemanina variegata* (ウィルデマニア ヴァリエガータ)

ベニタサ *Wildemanina amplissima* (ウィルデマニア アムブリッシマ)

マクレアマノリ属 (*Boreophyllum*)

マクレアマノリ *Boreophyllum pseudocrassum*

(ボレオフィラム プセウドクラッサム)

ミナミアマノリ属 (*Phycocalidia*)

タネガシアマノリ *Phycocalidia tanegashimensis*

(フィコカリディア タネガシメンシス)

ツクシアマノリ *Phycocalidia acanthophora* (フィコカリディア アカントフォーラ)

マルバアマノリ *Phycocalidia suborbiculata* (フィコカリディア サボービクラータ)

属未確定 (旧ポルフィラ属) *

アナアマノリ *Porphyra ochotensis* (ポルフィラ オコテンシス)

エリモアマノリ *Porphyra irregularis* (ポルフィラ イレギュラーリス)

クロノリ *Porphyra okamurae* (ポルフィラ オカムラエ)

コスジノリ *Porphyra angusta* (ポルフィラ アングスタ)

スナゴアマノリ *Porphyra punctata* (ポルフィラ プンクタータ)

ムロネアマノリ *Porphyra akasakae* (ポルフィラ アカサカエ)

日本の海苔養殖における代表的な亜種はオオバアサクサノリとナラワスサビノリで学名は次の通りです。

オオバアサクサノリ *Neopyropia tenera* var. *tamatsuensis*

(ネオピロピア テネラ ヴァリエタス タマツエンシス)

ナラワスサビノリ *Neopyropia yezoensis* f. *narawaensis*

(ネオピロピア イェゾエンシス フォルマ ナラワエンシス)

海苔養殖の主な対象種として最も良く知られているのはスサビノリとアサクサノリです。スサビノリの学名は *Porphyra yezoensis* (ポルフィラ イェゾエンシス)、アサクサノリの学名は *Porphyra tenera* (ポルフィラ テネラ) として長い間親しまれてきましたが、近年の分子レベル (DNA レベル) での研究の進展は目覚ましく、これまでポルフィラ属 (アマノリ属) に属していたノリは新たに 8 属に分れることになり (2011)、これに伴って日本産アマノリのほとんどがポルフィラからピロピア (*Pyropia*) という属名に変更されることになりました。

ところが、分子レベルでの研究がさらに進み、ノリは 14 属に分類されることになりました (2020)。日本語の名前 (和名) はこれまでと同じで変わりません。また、ネオミウラエ (*Neomiuraea*) は故三浦昭雄先生の、ウエダエ (*Uedaea*) は故殖田三郎先生のノリに関する研究業績に敬意を表して設立された属名です。

さらに、2021年には新種としてセンジュアマノリが記載されました。また、同年、中国の固有種とされていたハイタンアマノリ（中国名：壇紫菜）が伊豆諸島の式根島と八丈島に自生していることが報告されました。この結果、日本産のアマノリ類は31種となりました。

*日本産のノリでDNA分析が済んでいないため所属がまだ確定していない6種は、DNA分析が済むまではこれまでと同じポルフィラ属 (*Porphyra*) として扱われます。

(2021年12月 有賀祐勝)